

議事要旨（公表用）	
H23 年度 第 2 回千葉県移動性向上プロジェクト委員会	
開催日時：平成 24 年 3 月 16 日 15:00～16:30	
開催場所：千葉県教育会館 2 階 203 会議室	
委員会出席者：千葉工業大学工学部 教授 赤羽 弘和（委員長） 千葉県警察本部 交通部交通総務課 藤井 等（代理出席） 千葉県警察本部 交通部交通規制課 高木 善行（代理出席） 社団法人千葉県トラック協会 埴 泰弘（代理出席） 社団法人千葉県バス協会 専務理事 花崎 幸一 株式会社 千葉日报社 業務局長 鎗田 光明 千葉県 県土整備部 道路計画課 吉田 伸行（代理出席） 千葉県 県土整備部 道路整備課 田村 規道（代理出席） 千葉市 建設局 道路部 永名 淳吾（代理出席） 千葉市 消防局 警防部長 佐藤 寿高 首都国道事務所 藤田 明（代理出席） 千葉国道事務所長 遠藤 和重（敬称略）	
委員長	（1）移動性阻害箇所の交通状況 ・国道 357 号高浜立体については、立体と側道の合流部の挙動によって交差点の処理能力が低下している可能性もあるので、信号制御と道路構造をあわせた対策検討が必要ではないか。
委員長	・立体化により路線としての交通容量は確実に上がっているはずなので、下流側の対策も合わせて提示することで、もっと路線全体としての効果を実感してもらいやすくなると期待される。
委員長	・県道高塚新田市川線のような渋滞実感と観測データとが乖離している箇所については、今後どのようにチェックしたら良いか検討が必要。
委員 A	・県道高塚新田市川線では、将来外環 IC が接続することにより、国道 14 号の交通量が転換し、周辺道路の交通量が増加する可能性があるのではないか。
委員長	・渋滞対策と外環整備の影響はセットで検討しなければならず、今後、本委員会でモニタリングしていくことも考えられる。
委員 B	（2）新たな移動性阻害箇所の選定方針 （3）新たな移動性阻害箇所（案）の抽出 ・新たな選定指標として 3 つの視点を追加したことに関しては異議なし。 ・緊急医療の中で具体的な箇所を選定するパラメータとして搬送時間の長さを採用しているが、「現場での滞在時間」は除いて評価した方が良いのではないか。 ・防災面の「代替性の低い区間」については、緊急輸送道路と災害危険箇所のラップがないのかをチェックした方が良いのではないか。
事務局	（4）今後のスケジュールについて ・今年度は今回を持って終了となります。本日は貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。